

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Dプロジェクト千葉若松町新築工事	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市若葉区若松町439-10	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2023年6月30日
敷地面積	20,421㎡	作成者	原田 浩
建築面積	9,402㎡	確認日	2023年6月30日
延床面積	24,972㎡	確認者	原田 浩



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア= 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 効率の良い設備機器を使用しており、エネルギー消費、環境負荷低減になるよう設計されている。		<b>その他</b> なし
<b>Q1 室内環境</b> ブラインドと庇の組み合わせを採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 天高、階高にゆとりがあり、利用者にとって広く感じる空間になるよう努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物がまちなみや風景にバランスよく調和されており、植栽も行って景観への配慮も行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 建築物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減する取り組みに努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマを使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO2の排出量が、一般的な建築物と同等であり、地球温暖化への配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される